

令和8年8月20日

令和7年度 特別の教育課程の実施状況等について

2025年 リンデンホールスクール小学部

本年度も、全学年の児童が、英語、算数、生活、理科、社会、音楽、体育、環境などの授業において、「英語イマージョン教育」を継続して行った。児童たちは、外国人の先生たちと積極的にコミュニケーションを図ったり、英語での授業を熱心に聞いたり、積極的に活動に参加したりできた。また、「環境」の授業においても、日々の学校生活や、地域の農家「オーガニックパパ」での農業体験、行内にあるリンデンファームなどで、児童たちは様々な活動に取り組んだ。以下に主な学習活動について列挙する。

1. 「リンデン祭」におけるスピーチコンテスト

10月に行われたスピーチコンテストにおいて、4年生は、「動物」について英語でスピーチを行った。夏休み前から、絶滅危惧種を中心に学び、どの動物についてリサーチをするかを決めて、研究を進めていき、少しずつクラスでディスカッションをしたり、先生に質問をしたりしながら、スピーチを仕上げた。夏休み中に各自が練習をした後、スピーチコンテストで、スピーチを発表できた。

【評価】

児童は、授業の中で先生や友達から絶滅危惧種や、その動物たちを取り巻く環境について興味を持ちながら詳しく深く学ぶことが出来た。自分自身のリサーチとクラスメイトのスピーチからもお互いに学び合うことが出来た。ほとんどの児童は動物に興味があるので、スピーチを聞く側も、熱心に聞くことが出来た。クラスだけでなく、縦割りグループでも、お互いのスピーチを披露したり、意見交換をしたり、ディスカッションをしたりして、様々な環境の中で、どのような動物や生物が絶滅危惧種になっているかについて、知識や理解を深めることが出来た。スピーチコンテストには、保護者や地域の方々等、一般の方も参加した。

2. 食育と環境教育

本校では、オーガニック給食を実践している。また、「環境」の取り組みの中の1つとして、毎日の給食の残飯をコンポストにしている。全学年が土に戻るものと、戻らないものを分別し、そのコンポストで堆肥を作り、その堆肥を、リンデンファームの畑で活用し、そこで野菜を育て、その野菜を給食で頂くという循環的な仕組みを、体験から理解できる体験学習を行っている。

【評価】

4年生が全員交代で、給食後の昼休みの時間を活用してコンポストの活動をしている。児童らは、積極的に環境を守る活動をコツコツと頑張っている。毎日の繰り返しの中で、コンポストの過程には様々な苦労があり、時間もかかりますが、循環的な仕組みを理解するためには大変貴重な体験になっていると思う。

3. オーガニック農業体験

引き続き、有機栽培を行っている地元農家と連携しながら、オーガニック給食を提供している。体験学習としてこの農家を訪れ、一緒に作業したり、有機栽培について体験的に学んだりする機会を設けている。また、学校にあるリンデンファームの野菜を育てた後、地域の方々にお配りするなど、地域の方々との関わりも大切にしている。

【評価】

現在、オーガニック給食の評価は、とても高い。児童だけではなく、保護者からも、「毎日のことなので、とても嬉しい。」という声が多い。また、児童らも実際にオーガニック野菜を育てたり、食べたり、学んだりすることで、環境や、自分たちが食べるものについての関心が高まり、環境や食についての意識も高くなっているように感じる。

4. オーストラリアの環境に触れながら学ぶ機会

姉妹校であるオーストラリアのビーコンヒルズカレッジに、4年生以上が訪れ、ホームステイをしながら、学校に通ったり、自然公園や動物園など訪問する中で、オーストラリアの環境を学ぶことが出来た。オーストラリアの家族と生活したり、学校に通う中で、その地域で生活する人々の暮らしを学びながら、環境に対する意識の違いに気づいたり、新しいことを発見したりすることができた。

【評価】

オーストラリアの姉妹校との交流は10年以上、継続的に行うことが出来ている。お互いの学校を訪問し、留学生やホストファミリー、先生たちとの交流しながら、自然とお互いの国の環境について学び合うことが出来ている。そのため、大半の児童にとって、オーストラリアはとても身近な国であるようだ。

5. English Star

毎月行われる全校集会で、各クラスで特に頑張って英語でコミュニケーションを図っている児童を評価し、表彰をすることによって、英語を話すことに対して積極的に楽しく取り組むように働きかけをしている。

【評価】

毎月各クラスで1人しか English Star の賞状を受け取ることができないので、全校集会で賞状を受け取る時の児童は嬉しそうにしているし、周りの児童からも認められることで、自信を付けている。毎週、保護者に配布する Newsletter にも、今月の English Stars の名前を掲載しているので、保護者からも、「先生や友達からすごいと褒められたから更に英語に興味を持って取り組むようになった」とか、「あまり自信がなかったが、表彰されてから前より自信をもって英語を頑張るようになった。」など、嬉しいコメントが寄せられている。

7. エコ委員会の活動

毎月1度の委員会活動では、「エコ委員会」が地球に優しい活動を行っている。ペットボトルキャップを集めて、地域のスーパーに届ける活動を続けている。

【評価】

この活動を通じて、児童の多くが、毎日の生活の中で何か自分に出来ることはないかと考えながら行動できるようになってきている。

8. Green City Project

「環境」の授業の中で、児童らが自ら考えて「Green City」をつくるプロジェクトに取り組んだ。環境に優しいレストラン、会社、街を自分たちで考えて、グループの仲間と一緒にジオラマやポスターなどを作った。

【評価】

子供たちが日ごろから学んでいることを、グループの友達とディスカッションをしながら、1つのジオラマを作る過程で、どうすれば、より良い地球をつくることが出来るのか？持続可能な仕組みを作るためにはどうすればよいのかなど、様々な観点から自分たちが作りたいレストラン、会社、街をデザインし、作成することができた。

9. シェイクスピア英語劇の発表

1年生から6年生の児童が全員参加し、シェイクスピア英語劇「ヴェニスの商人」を発表した。英語やプレゼンテーションの授業の中で、ストーリーに親しんだり、高学年が低学年に人形劇スタイルで話の内容が分かるように披露したり、縦割りグループで舞台道具を作成したりした。感情豊かに表現する活動も取り入れ

ながら、セリフを一生懸命に覚え、全員舞台で演じることが出来た。また、児童たちは、ポスターやパンフレット作りにも関わり、頑張って作成できた。

【評価】

日々の練習で、内容や各キャラクターの性格や立場、状況を理解しながら、声の出し方やステージでのジェスチャー、豊かな表現力を学び、セリフを一生懸命に覚えて、「ヴェニスの人」を全校児童で見事に演じることが出来た。当日は、保護者や地域から多くの一般の方も観覧してくれた。